

◇非戦平和公開学習会

本年度の非戦平和学習会は、五月十日に一回目、六月七日に二回目が行われた。テーマは「ヒトラーの優生思想と全体主義」。一回目は二〇一六年、日本記者クラブで開催された石田勇治東京大学院教授による「ヒトラーとは何者だったのか」という講演動画をYouTubeにて視聴し、二回目は「ヒトラーとナチス体制が人々を引き付けた、魅力、について」というテーマでヤスクニ問題専門委員会委員の飛鳥寛静さんが発表した。ナチス時代のドイツを考えるうえで、ヒトラーとナチ体制がドイツの人々を惹きつけた「魅力」について、どのような手口でナチス体制の支配や国民的な高い人気が生み出されたのかを学び、現在の社会状況とどのような類似点があるか、私たち念仏者がこれからの対応をどのようにしていけばいいのかを考えるきっかけとなった。

二回目では飛鳥さんは自身で用意した資料に合わせて、石田先生の講演動画を解説しながら発表。ナチス時代のドイツは経済対策による雇用の安定と国民統合を行う上で、アウトバーン（高速道路）の建設に代表される公共事業や失業者を減少させるに重要だった一般徴兵制度の導入により、景気と失業者の対策を実施し、雇用の安定を図り短期間で失業問題を解決。実際には前政府の失業対策が徐々に効果を表していたのだが、メディアにより「労働をめぐる戦い」に勝利と喧伝された。

また、ヒトラーは虚像と実像のギャップが大きく、メディアが作り上げた虚像の中では、①救世主としての虚像②国民と国家からの守護者③平和愛好家④指針なき民の指導者④経済復興の立役者と言われたが、実際は①扇動政治家、指揮官としての才覚はなし②徹底

した人種差別主義者（レイシスト）で優性思想を体現、③反ユダヤ主義者、劣等な人種であるとして排斥した④反共産主義者であったと述べた。

意見交換では、日本の現状が語られ、自民党の憲法草案の緊急事態条項や安全保障関連法案等危険な要素があっても、うやむやに「なんとなく流されていく」を危惧する声や、世界的な経済不安に波及するように、特に日本における経済不安がより全体主義（個人の自由を認めず、個人の生活や思想を国家全体の利害と一致するように統制を行う思想または政治体制）を加速していく危険性が語られた。次回は、七月十二日（火）午後七時から「ヒトラーの優性思想とホロコースト」というテーマで開催される。

◇高岡教区公聴会（二回目）開催

六月一日（水）午後二時から、公聴会（オンライン会議）が開催された。今回の公聴会は、実際に宗派役職者が高岡教区に赴いての公聴会ではなく、①西本願寺高岡会館の礼拝堂において、オンライン会議で行う形式、②希望者がオンライン会議の動画を視聴する形式、または、③宗派役職者が各項目を説明した動画をweb視聴するという二通りの形で行われる。

六月一日に礼拝堂で開催された公聴会（オンライン会議）には、教区内のご住職及び役職者、二十二名が参加された。

宗派からの報告及び意見聴取事項は、

- ①はじめに（石上総長挨拶）
- ②二〇二二（令和三）年度公聴会の振り返り
- ③新たにめざす持続可能な宗務組織を構築す

るための具体策

④ 賦課基準の見直しについて
(第2次答申)

の四点であった次回公聴会(二回目)の開催は、六月二十三日(木)午後一時半からの開催を予定している。内容・開催形式は前回開催時と同じ。

また、本教区報と同送にて、『公聴会開催方法の追加施策について』のご案内を皆さまにお送りしております。ご一読いただき、WEBにて公聴会の動画配信を視聴いただきますようご案内申し上げます。

◆ 教務所からの事務連絡

教区宗務推進にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

さて、本年一月十七日(月)より、郵便局において払込書(赤色)による現金での送金について事務手数料が設定されました。

宗派宛ての送金(院号申込にかかる懇志・宗派賦課金等の送金)について、教務所を窓口として送金される場合、郵便局の事務手数料(現在は一〇〇円)を別途ご負担いただいております。

なお、教区手数料を別に頂戴している願記冥加金の宗派宛送金については、今まで通りの対応とさせていただきます。何卒、ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

★ 訂正について

※前回五月号の「御同朋の社会をめざす運動」コーナーの標題に誤りがありましたので左記の通り訂正いたします。

誤) 北陸同朋推進委員会総会・研修会報告

正) 北陸同朋運動推進協議会総会・研修会報告



得度習礼講習会・考査のお知らせ

本年度高岡教区における得度講習会・考査を下記のとおり開催いたします。

「得度願」提出予定の方には講習会・考査受講が、原則、必須となっておりますので、ご準備よろしくお願ひいたします。

尚、申込書類は教務所にございます。
40日前(7月13日)までに申し込みが必要です。

記

1. 期日 8月22日(月)～24日(水)
※(講習会2日・考査1日)
2. 会場 福光教堂
(南砺市福光974-2)
3. 定員 8名(定員に達し次第締切)

以上

西本願寺高岡会館

永代経法要のご案内

下記の通り高岡会館の永代経を勤めます。
お誘いあわせてお参りください。

日時：7月15日(金)
日中一午前10時

法話：高岡教区布教団布教大会

日中：増山孝琢 師
(新湊組妙蓮寺)

四下順文 師
(富山教区上新川組妙傳寺)

※本年は、新型コロナウイルス対策のため、日中の法話にて終了といたします。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

「御同朋の社会をめざす運動」高岡教区委員会委員研修会報告

去る五月二十三日（月）西本願寺高岡会館において「御同朋の社会をめざす運動」高岡教区委員会の委員研修会が開催された。本研修会は「御同朋の社会をめざす運動」高岡教区委員会（以下教区委員会）委員・組長・組主幹・副組長・専門委員を対象に教区内外の実践運動推進上の課題についての研修を行い、課題の共有を図ることを目的とするもの。

今回は『「これまで」と『これから』を考えると大事にすべきもの、改めていくもの』をテーマとし、昨年実施した「新型コロナウイルス感染症流行下の寺院活動アンケート」の集計結果から見えてきた課題について学びを深めた。

最初に伯水永雄さん（同朋企画専門委員 元教区相談員）より問題提起があり、アンケートでは大半が月参りや法事・葬儀が以前より減少、簡略化されるようになったと回答し、寺院と門信徒とのつながりが希薄化していることに強い危機意識を持ち、コロナ流行以前の関係やつながりを取り戻したいとする志向がみられるとされた。

ただ、法事・葬儀の減少や簡略化、関係の希薄化はコロナ流行だけが原因ではなく、過疎高齢化や経済状況の悪化、社会的に伝統的慣習そのものが維持されなくなっていることによるところも大きいとされ、従来の在り方や関係を復活させていこうと復古主義や権威主義的な動きに走れば、かえって門信徒の反発を招き、また、黙って状況を静観するだけというのも、状況は改善しない、と指摘された。

その上で「これから」の寺院活動を考える上での重要なポイントとして、何よりもまず浄土真宗の教えに基づいているかどうか、ということを目指し、また、この間の混乱で目的と手段を混同し、手段そのものが目的化してしまうという傾向がより顕著になっているとし、目的と手段の点検と確認は必須であると提言された。

それを受けた話し合い法座の報告では、「宗派や寺院を維持するための集金システムが門信徒の重荷となり、反発を生んでいる」「これまで元々あった課題がコロナによっていよいよ顕在化し、もはや目を背けることができない段階にきている」「連研などの組活動への取り組みに苦勞しているが、熱を感じられず無力感もある」「私たち僧侶は今まで本当に教えに基づいて生きてきた、と言えるのだろうか。僧侶の意識も変えていかななくては」等の意見が出された。

最後に講師の井上慶永さん（同和教育振興会理事 連研中央講師）より助言があり、問題を考える上で押さえておくべきポイントとして「本山・教区には賦課金負担の軽減など本末制度の見直しを願う一方、門信徒に対してはこれまで通りの関係（寺壇制度）を求める矛盾」「寺壇制度という江戸時代の遺制に基盤を置いてきた歴史と僧侶の体質」があると指摘。

そもそも僧侶や寺院と門信徒のつながりの背景として江戸時代に成立した「宗門檀那請合之掟」の存在があり、当時の住職には幕府が取り締まる邪教の信者かどうかを判断する権限「宗判権」が与えられ、事実上の生殺与奪の権限を有しており、そのため、住職の不振を買ったり、機嫌を損ねないためには仏事を務めない、寺の行事に協力・参加しないということは不可能であり、その制度は明治には無くなったものの、僧侶と門信徒のそのような上下関係は慣習として維持され続けてきたのであり、必ずしも教えだけでつながっていたわけではないとされた。

その上で、もはや寺壇制度は慣習としても機能しなくなっているのに、寺壇制度に基づいた関係を復活させていこうとしたり、かつてのような寺院の権威を取り戻そうとする動きは逆効果であると指摘。むしろ世俗的権威をよりどころとしてつながろうとするのではなく、同朋教団・念仏者としての歩みという方向から門信徒とのつながり・関わりを模索していくこと、そのために①門徒のための教団・本山という視点②門信徒との課題の共有③既存の組織・教化伝道（法座）のあり方の見直しと点検、が重要であると提言された。

【高岡教区教務所職員 岡西好持】

◇これからの日程（6/14～7/20）◇

6月	教区・財団行事	教化団体・組行事
14	常例法座 減免審査会・常備会	
15		仏婦組織教化専門委員会 水波組聞法のつどい
17		仏婦・寺女合同執行部会
20		ヤスクニ問題専門委員会
22	財団評議員会	
23	公聴会（2回目）	
25		まことの保育研修会
27	組長会	
28		寺女役員会
29		ビハーラ総会
30		矯正教化打ち合わせ会
7月		
1		子ども・若者ご縁づくり 専門委員会
5	臨時教区会	仏婦ダーナ・ビハーラ専 門委員会
6	聖典セミナー	仏婦教材専門委員会
9		仏婦真宗入門講座
12		非戦平和学習会
14	常例法座	
15	会館永代経	
20		仏婦広報専門委員会 寺女研修会

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前5:35～5:45
□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎6/25（土）：岡崎 秀磨氏

（浄土真宗本願寺派総合研究所研究員）

「「ねえ、お坊さん教えてよ」に込めたおもい」

□6/26（日）：福田 慶隆氏

（高岡教区五位組廣濟寺）

◎7/2（土）：吉村 隆真氏

（本願寺派布教使・熊本教区詫麻組良覚寺住職）

「さよならの先にあるもの～

「一寸先は光」のいのち～」

◎7/9（土）：吉村 隆真氏

（本願寺派布教使・熊本教区詫麻組良覚寺住職）

「光に照らされて、光に合う」

□7/10（日）：未 定

（富山教区）

◎7/16（土）：吉村 隆真氏

（本願寺派布教使・熊本教区詫麻組良覚寺住職）

「み教えは心のワクチン」

◎7/23（土）：吉村 隆真氏

（本願寺派布教使・熊本教区詫麻組良覚寺住職）

「鬼の住処」

☆お知らせ☆

『法輪せんべい』販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかが
でしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下
さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内

（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館7月の常例法座】

ご講師： 城野至界氏

（伏木組善證寺）

ご講題：『白衣と黒衣』

午後1時20分頃からビデオ上映、2
時からお正信偈六首引のお勤めです。ど
うぞお誘いあわせてお参りください。